

平成 27 年度岡山 ESD 推進協議会  
岡山 ESD プロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 国際理解およびグローバル人材育成の支援

団体名 特定非営利活動法人 こくさいこどもフォーラム岡山 担当者名 難波 徳行



※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

下記 4 事業を実施した。

①国際塾（5 月～11 月、於：オリエント美術館他）

県下の中・高校生を対象に計 11 回の講座を実施した。受講生 26 名

★別添のカリキュラムを参照願います。

②高校生対象の懸賞論文（7 月 12 日表彰式：オリエント美術館）

県下の高校生を対象に懸賞論文を募集。108 編の応募あり。最優秀賞 1、優秀賞 3 の 4 名に本賞（海外研修費補助 5 万円×1 名、図書カード 5 万円×1 名、2、5 万円×2 名）を、奨励賞 8 名に名入れボールペンを贈呈した。

③高校生シンポジウム（10 月 31 日、於：国際交流会館）参加高校生 31 人

当フォーラム 20 周年記念事業として～高校生の高校生による、高校生のためのシンポジウム「2020 年の私のために今できること～高校生グローバルゼミ～」を開催した。

一部：基調講演 中島理恵氏

「グローバル人材になるために、今考えておきたいこと」

二部：高校生グローバルゼミ（各グループに分かれてディスカッション）

「グローバル化とコミュニケーション力」

④ESD Café（12 月 23 日、於：国際交流会館）

13 校 58 名の生徒、教員・世話人計 24 名の総勢 82 名が参加。各発表についてその都度、参加者との間に活発な質疑応答、意見交換がなされた。

2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ

①国際塾

- ・第 2 回：ユダヤ教・キリスト教・イスラム教・仏教についての概略とこれら宗教と地域の政治・文化との関わり等国際理解に欠かせないポイントを学んだ。
- ・第 3 回：青年海外協力隊経験者 3 名から、それぞれに赴任先の現地事情や貢献分野（貧困、教育、技術指導）での体験を学んだ。
- ・第 8 回：好適環境水の開発が、世界の食料問題・環境問題等の解決にも繋がることを学んだ。

②懸賞論文

- ・タイトル 3 項目とも ESD と関連するが、2 に「ESD と私」と直接的タイトルを掲げた。

## ③高校生シンポの開催

20周年を記念して開催した初のイベント。第2部「高校生グローバルゼミ」では、ESDの視点から「多文化共生」「地域の魅力発見と継承」等が話題として取り上げられた。

## ④ESD Café URA

本イベントは、若い世代へのESDの普及・定着を目的としており、今回のテーマもその主旨に沿って「若者・グローバル・ESD」とした。発表のほとんどがESDに関係した内容であった。

## 3. 取組の成果（参加者の変化、感想など）

## ①国際塾

- ・ 塾生の感想 「グローバルの時代、日本のことをしっかり知って、それを積極的に外へ発信していくことの大切さを学んだ。」  
「質問や発表、他校生との交流を通じて、積極性と協調性を養う事が出来た。」  
「留学の決心がついた。」
- ・ 世話人の感想「入塾時と比べて、彼等の成長度合いの大きさに驚く！」

## ②懸賞論文

- ・ 応募が108編と飛躍的に伸びた。
- ・ 最優秀論文は山陽新聞に掲載された。また高校生「全国新聞感想文コンクール」第1位がこの論文を読んでの感想であった。さらに、「さだまさし」がNHKTVで同論文を取り上げるなど予想外の展開があった。

## ③高校生シンポジウム

- ・ 高校生会議とタイアップした。企画、運営すべてを高校生(国際塾生7名を含む)が担当。立派な出来栄であった。
- ・ 基調講演の講師 中島氏は未だ30代と若く、その分高校生には、グローバル人材のモデルとしてより身近に感じられたのではないかと。

## ④ESD Café URA

- ・ 岡山ユネスコ協会と共催した。参加が13校と増えた。
- ・ 全般的に発表内容・プレゼン力ともに大きくレベルアップしている。
- ・ 高校現場では、ESD思想の理解に加えて、実践も定着していることが窺われた。

## 4. 今後の課題と展望

## 財政・運営基盤のさらなる充実

## ①国際塾

- ・ 定員30名が26名と不足。原因は、高校生の日常の忙しさにある。  
→次期カリキュラムの編成に当たっては、各校の重要日程も勘案、重複を最大限に回避する。
- ・ 茶話会をセット  
講義理解の更なる深化を図るべく、講義終了後に塾生と講師による茶話会を設ける。

→そのための時間を捻出するため、開始時間を若干早める。

・アクティブラーニングの実践

③懸賞論文

・応募は、増えたが応募校に偏りがある。応募校を広げたい。

→高校現場への広報を徹底する。

④Esd café URA

・更なる参加校の増をめざす。

→ESD 実践校にアプローチ、具体的活動事例の発表を要請する。

(当フォーラム運営・管理上の課題)

①財政基盤の充実

→会員増キャンペーンを実施中。

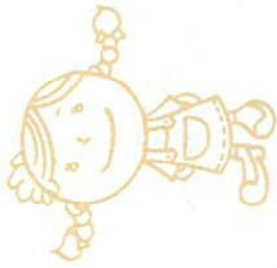
②実務担当者が不足

→新規会員に世話人としての参画を呼び掛ける。

ご報告

当フォーラムは、27年10月1日付で「特定非営利活動法人」の認定を受けました。  
同日付で、任意団体「こくさい子どもフォーラム岡山」の資産（債権・債務を含む）は、  
すべて新法人が継承いたしました。

# おかげさまでインターキッズは20周年を迎えました



## 2015年度 活動記録



NPO法人こくさいこどもフォーラム岡山 (INTERKIDS) 会長 今西通好



こくさいこどもフォーラム岡山 (INTERKIDS) は今年20周年を迎えました。1995年発足当時は、小学生を中心にして外国人居住者とのふれあいを楽しんでもらおうとふれあいこどもフェスティバルなどを開催し、交流に努めました。12年前から、中高生を対象に、国際塾を始めました。昨年までに250名を送り出しています。日本人としてのアイデンティティーと国際感覚を身につけ、グローバル社会に適応できることを目的として年間11回の講座を行っています。講座では、国内・地域のことを知り、同時に国際的なことを学びます。そして、考える力・自分の意思を相手に伝える力を養ってまいります。INTERKIDSは、創立20周年を節目に10月1日付けでNPO (特定非営利活動) 法人への組織替えをいたしました。そしてこれからも次世代を担う高校生など若い世代のグローバル人材育成事業の進展に努めてまいります。引き続きご支援ご協力ほどよろしくお願いたします。



5/10 第1回 国際塾  
松畑照一 塾長  
中国学園大学学長  
『国際塾で何を学ぶか』  
(オリエンメント美術館)



8/28 INTERKIDS懇話会  
高校教育を取り巻くさまざまな課題について、教育関係者が集まり、語り合いました  
(岡山国際交流センター)

2015年10月1日  
NPO法人登録!

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月



5/31 第2回 国際塾  
広瀬佳司 教授  
ノートルダム清心女子大学教授  
『宗教の世界観と人生観』  
(ノートルダム清心女子大学)



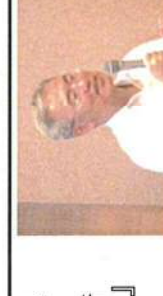
8/2 第5回 国際塾  
小嶋光信 両備グループ代表  
『地域公共交通の再生とまちづくりに挑戦する』  
(オリエンメント美術館)



6/14 第3回 国際塾  
大井聡美さん他  
岡山県JICAデスク  
『青年海外協力隊員に聞く』  
(岡山国際交流センター)



8/9 第6回 国際塾  
原田正道 老師  
曹源寺住職  
『自己をみつめる』  
(岡山市・曹源寺)



7/12 第4回 国際塾  
橋本亮一 先生  
産業技術総合研究所  
『ロボットとは何か?』  
(オリエンメント美術館)



8/23 第7回 国際塾  
小笠原ヒロ子 先生  
会議同時通訳者・NDS講師  
『English Cafe』  
(ノートルダム清心女子大学)



9/6 第8回 国際塾  
山本俊政 准教授  
岡山理科大学工学部  
『好適環境水開発のシナリオ』  
(岡山理科大学)



10/31 20周年記念 高校生に  
よる高校生のためのシンポジウム  
『2020年の私のために、今できること』  
基調講演; 中島理恵氏  
(岡山国際交流センター)



9/27 第9回 国際塾  
赤井克己 郷土史研究家  
元山陽新聞社専務取締役  
『ハワイ日系移民の苦難を知る』  
(オリエンメント美術館)



11/15 第12回 国際塾  
松畑照一 塾長  
討論と意見発表  
卒業式・懇親会  
(ノートルダム清心女子大学)



10/4 第10回 国際塾  
杉山慎策 教授  
就実大学副学長・経営学部長  
『21世紀に生きる君たちへ』  
(就実大学S館513)



12/23  
第3回ESDカフェURA2015  
県下10校の高校生参加  
岡山ユネスコ協会共催  
(岡山国際交流センター)

### ☆福武哲彦教育賞受賞

・期日 7月20日(月・祝) ・場所 岡山プラザホテル  
20年にわたり地域のグローバル人材育成活動を行ってきた「こくさいこどもフォーラム岡山」は、福武教育文化振興財団による本年度「福武哲彦教育賞」を受賞しました。『あなたたちが長きにわたり国際感覚の優れた若いリーダーの育成に尽力されました。今後も岡山から世界で活躍する真の地球人を多く輩出されることを期待するとともに永年にわたる功績をたたえここに福武哲彦教育賞をお贈りいたします』(表彰状文言より)



### ☆高校生懸賞論文2015について

2015年、第2回目の高校生懸賞論文企画を実施しました。3月募集開始後、岡山県下の高校生から108名の応募があり、審査の結果12名を表彰しました。最優秀賞に輝いたピラン・アンドレ(おかやま山陽高校)さんの論文は、山陽新聞に掲載され、ちまた欄でも多くの反響を呼びました。優秀賞の三宅美穂(矢掛高校)さんは岡山県高校生韓国訪問団に参加、インターキッズはこの海外研修費の一部を助成しています。(7月12日表彰式) アンドレさんの論文はその後NHK総合TV7月末放送の「今夜も生きたままだ」でも取り上げられ、全国的な話題となりました。

### ☆NPO法人化第1回総会と創立20周年記念レセプション開催

・日時 2015年11月29日(日)  
13:00~NPO法人総会 14:00~レセプション  
・場所 岡山国際ホテル 丹頂の間



第1回総会後の創立20周年レセプションには、7月20日に受賞した『福武哲彦教育賞』と10月1日『特定非営利活動法人』に登録したことを記念して、各界から多数の方々にお集まり頂きました。オープニング狂言に始まり、刷り上がったばかりの「創立20周年記念誌」で歴史を振り返り、また映像「20年の歩み」に映し出された若き日の世話人の姿に大いに盛り上がりました。そしてみなさまから多くの励ましのメッセージを頂いていただき、一同今後とも地域の高校生に向けて、『良き学びの場』を提供し続けていく決意を新たにいたしました。

+++++  
国際塾の講義録はYouTubeにアップしています  
ホームページからご覧ください。



NPO法人こくさいこどもフォーラム岡山 (インターキッズ)  
**INTERKIDS**  
INTERNATIONAL KIDS FORUM OKAYAMA

URL: <http://www.interkids-okayama.com/>

